

平成20年度 決算のご報告

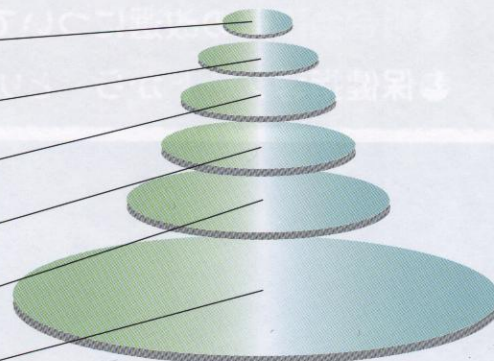
ここ数年来の被保険者数の増加等により保険料収入は前年度対比約2億5,123万円と前年度に次ぐ増収となりました。しかしながら、支出面においても医療費(保険給付費)が前年度対比約2億3,038万円と大幅に増加するとともに、新しい高齢者医療制度の施行に伴う後期高齢者支援金をはじめとする納付金等の拠出負担も前年度対比約1億6,989万円増加しました。

このため経常収支では約1,126万円とわずかながら黒字決算になりました。

収入合計 4,387,821千円

※国庫負担金収入 国庫補助金収入	3,717千円
※雑収入	23,053千円
調整保険料	62,300千円
財政調整事業交付金	84,433千円
繰越金	150,000千円
※健康保険料	4,064,318千円

※は経常収入

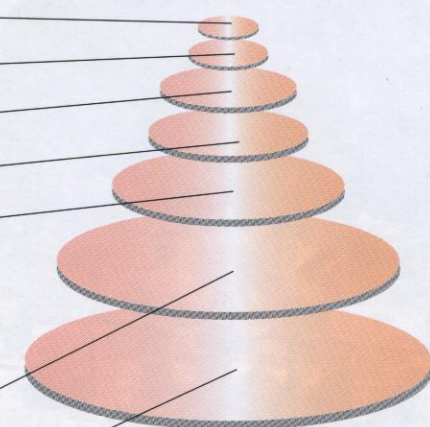


支出合計 4,141,659千円

※積立金	1,750千円	
※その他	3,488千円	
財政調整事業拠出金	61,822千円	
※事務費	70,967千円	1.75%
※保健事業費	164,535千円	4.05%
※納付金合計	1,637,760千円	40.30%
前期高齢者納付金	505,362千円	12.43%
後期高齢者支援金	651,386千円	16.03%
病床転換支援金	423千円	0.01%
退職者給付拠出金	327,776千円	8.06%
老人保健拠出金	152,813千円	3.76%
※保険給付費	2,201,337千円	54.16%

(医療費・現金給付費)

※は経常支出 内の数字は保険料収入に占める割合です。



決算残金 246,162千円

経常収支差引額 11,264千円

介護保険分の決算

介護保険の納付金は全額を国庫に納付し、運営者である全国の市区町村に配分されています

収入		
科目	決算額	※被保険者1人当たり
介護保険収入	211,903千円	64,000円
雑収入	28千円	8円
合計	211,931千円	64,008円

支出		
科目	決算額	※被保険者1人当たり
介護納付金	189,771千円	57,315円
介護保険料還付金	106千円	32円
積立金	8,049千円	2,431円
合計	197,926千円	59,778円

※介護保険納付被保険者の1人当たり額です。

決算のポイント

収入では…

① 一般保険料

一般保険料収入は総額では大幅な増加となりました。しかし平均標準報酬月額が昨年を上回る額で引き続き減額となっています。その中で増加した理由は、被保険者数の増加（平成19年度平均9,497人→平成20年度平均10,290人、793人増）と年間の賞与支給額の前年度比大幅増によるものです。

※皆さんに納めていただいた健康保険料は当組合の医療費の支払いや保健事業に使われる一般保険料と、全国の健康保険組合の相互扶助のために健康保険組合連合会に納める調整保険料とに分けられています。

② 財政調整事業交付金

全国の健康保険組合が相互扶助のために拠出しているお金（原資は上記の調整保険料です。）から当組合に高額医療費の補助金として交付されたものです。平成20年度の当組合は高額医療となるご病気をされた方々が多かったということができます。

支出では…

① 保険給付費

皆さんが病院にかかれた医療費と、休業補償や出産時の補助等、健康保険で給付を行った費用です。平成20年度も例年と同じく保険給付費総額は増え続けています（前年度比2億3千万円の増）。

被保険者とご家族の皆さんが増えたことも影響していますが、被保険者1人当たりの給付費額でも、前年に比べ6,396円の増（平成19年度207,533円→平成20年度213,929円）となっています。

② 納付金等

健康保険組合では、皆さんの保険料から、①の保険給付費や③の保健事業費だけでなく、65歳以上の国民全体の医療制度にかかる費用（国民健康保険等に加入している方の医療費等）の支援として納付金等（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、病床転換支援金、退職者給付拠出金、老人保健拠出金）を支払っております。

平成20年度は皆さんに納めていただいた保険料の40.3%に当たる、総額16億3,776万円を国に納めています。これが当健康保険組合の大きな負担となっています。

③ 保健事業費

皆さんが当組合に加入していることにより受けられる組合独自のサービスです。平成20年度は前年より更にサービスの拡充に努めました。

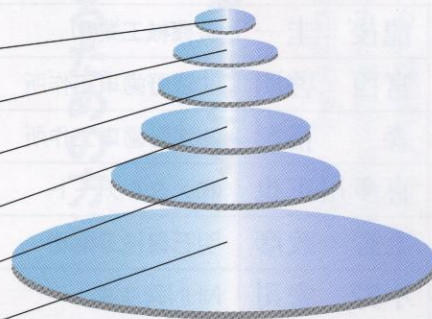
特徴としては健康支援のための各種事業の全被保険者へのご自宅直送による周知により、インフルエンザ補助金の活用的大幅な増加、医薬品有償斡旋での好評薬品の半額補助の利用増加、旅行補助の活用的大幅な増加などが挙げられます。その他健診・健康者表彰等の事業も継続的に実施しました。

被保険者1人当たりでみる決算額（%は前年度対比 十は増、▲は減）

収入合計 426,416円 (▲3.6%)

※国庫負担金収入 国庫補助金収入	362円	(+10.4%)
※雑収入	2,240円	(▲63.4%)
調整保険料	6,054円	(▲1.7%)
財政調整事業交付金	8,205円	(+8.8%)
繰越金	14,577円	(+176.9%)
※健康保険料	394,977円	(▲1.6%)

※は經常収入



支出合計 402,494円 (+2.7%)

※積立金	170円	(▲25.4%)
※その他	340円	(▲18.1%)
財政調整事業拠出金	6,008円	(▲1.7%)
※事務費	6,897円	(▲6.8%)
※保健事業費	15,990円	(+1.2%)
※納付金合計	159,161円	(+3.0%)
前期高齢者納付金	49,112円	(新規)
後期高齢者支援金	63,303円	(新規)
病床転換支援金	41円	(新規)
退職者給付拠出金	31,854円	(▲57.9%)
老人保健拠出金	14,851円	(▲81.2%)
※保険給付費 (医療費・現金給付費)	213,929円	(+3.1%)

※は經常支出

